

東北広域次世代がんプロ養成プラン 共催セミナー実施報告書

(本報告書は東北広域次世代がんプロ養成プラン HP へ掲載させていただきます)

(セミナー名称) 2024 年度宮城県内の看護師を対象とした「緩和ケアリンクナース養成研修」
1. 担当分野 緩和ケア看護学分野・がん看護学分野
2. 実施年月日 講義：令和 6 年 8 月 9 日～8 月 30 日 集合研修：令和 6 年 8 月 31 日、9 月 7 日、9 月 14 日、令和 7 年 1 月 25 日 施設見学：令和 6 年 10 月の施設が指定する日
3. 開催場所・開催方法 講義：オンライン 集合研修：東北大学医学部保健学科 A 棟 施設見学：県内の協力施設
4. 関連分野・領域 緩和ケア・がん看護
5. 対象者 宮城県内の緩和ケアリンクナースなど院内で緩和ケアを推進する役割にある看護師、または緩和ケアやがん看護の専門性を高めたいと志のある看護師 1)臨床経験 3 年以上(日本看護協会のラダーⅢ相当) 2)緩和ケアリンクナースなど院内で緩和ケアを推進する役割にある看護師、緩和ケアの専門性を高めたい看護師 3)ELNEC-J(日本緩和医療学会主催のエンド・オブ・ライフ・ケアに関する教育プログラム)の修了者 ※認定看護師、専門看護師、診療看護師(Nurse Practitioner)は除く
6. 参加者について 参加者合計人数：受講者 20 名、講師 26 名 学内参加者数：受講者 2 名（看護師）、講師 6 名（看護師） 学外参加者数：受講者 18 名（看護師）、講師 20 名（看護師 18 名、他 2 名）
7. 成果 宮城県内の緩和ケアを推進する役割にある看護師、または緩和ケアやがん看護の専門性を高めたいと志のある看護師向けの本セミナーを今年度も開催し、県内の各施設に勤務する看護師 20 名が参加した。今年度は、コロナ渦で実施ができず見送っていた施設見学を 5 年ぶりに開催することができた。 講義全 15 回はオンライン受講とし、宮城県内の専門看護師、認定看護師などスペシャリストの講義を通して知識と理解を深めた。その後、全 4 回の集合研修で、具体的な事例を用いたグループワーク、ロールプレイなど、講義で得た知識を実践に活かすため、課題の抽出、目標設定をおこない、解決に向けた計画・行動について、受講者が考え、発表やディスカッションを行

った。

また県内の各施設の協力を得て、希望者向けに緩和ケア病棟、緩和ケアチーム、在宅訪問看護、在宅ホスピス施設の 4 カテゴリーより、一人最大 4 施設の見学を実施した。自施設以外の施設がどのような取り組みをおこなっているのかを自身の目で見て感じてもらった。

受講者は一人一人が何かを変えようという思いと意識を持って参加しており、専門看護師、認定看護師からの助言を得ることができ、また、同じ目的を持った人たちの出会いや同志の学びがあった本件研修は有意義で貴重な交流の機会になったと考えている。

【当日の会場の様子などの写真がございましたら、添付ください】

